



19 7型より装着されたタイヤカバーもオプションでボディ同色塗装できる。



17 メーカーから届いたFRP製ゲルコート仕上げのバンパーを前処理中。実はこの工程が一番手間暇がかかる。



20 フロントバンパー取り付け前にインナーフェンダーの邪魔な部分をカット。



18 リアバンパーの取り付け。現物合わせしてから取り付け穴を開けてビスで固定。



21 最後の仕上げがりに向けて...フロントバンパーの取り付け。フォグランプの配線など、チョイと面倒な作業がある。



24 下回りのボルトナットの締め忘れなどを念入りにチェック。



22 フェンダークリアランスを調べてラジアルを調整する。



25 最後に試運転。お客さんの手に渡る前に、あらゆる動作や音をチェック。



23 リフトアップするとズレる光軸をココで調整。やはり、結構ズレてましたね。



26 これでめでたいうちやと完成! 右から無印の工藤さん、鍍金塗装部門の佐々木さん、同じく山口さん、そして検査員の折本さん。エヌステージでは、本社と合わせ、常時30名体制で稼働しており、登録から書類作成まで、様々な人がこの1台のクルマに関わっているというお話を聞きました!

**完了!**

注文から納車まで約1か月弱、様々な人の手を経て完成する



7 フロントの脚まわりの作業。フロントコイルを入れていく。コイルは4本とも長さや通しの間隔を揃えないとだめ。



10 ブレーキホースの交換等があったため、ブレーキのエア抜き作業は必須。



8 3インチアップするとABSのコードが引っぱられて危険。これを対策するステーを取り付ける。



11 スキッドプレートの取り付けには、フレームへの穴開け加工が必要。



9 JAT2と違って別々に記される前ダンパー。これも交換。



12 小さな気遣いと大きな安心。穴開け後、エナサンダーでバリを落とし、鉄板の地が出た所を断面に錆止めの塗料を塗布。



15 ドアの内張を剥がし、余分な配線が出ないように、キレイにしまっていく。



13 その穴を使ってアルミスキッドプレートを取り付け。タニグチ製は強度充分!



16 どうしても隠れない配線はコイルゲートチェーンで保護。クリップで固定する。



14 リアゲートのスペアタイヤ&ナンバー移動キットの取り付け。只今ナンバー灯の配線中。

# 結構大変なのね!

コンプリートカーができるまででは、カスタムコンプリートカーはどのようなプロセスを経てユーザーの手元に届くのだろうか。製作過程を追いながら、どれほどの手間があるのか見てみよう



ノーマル車の納車とは全く違う。カスタムコンプリートカーの作業。よく考えて欲しい。チョイとタイヤ交換しただけで、脱着代とパランス調整料をとられるだろうか? そんな細かな手間を、一切カウントしないくらい勢いで価格設定されているのがジムニーのカスタムコンプリートカーの世界。でも、美しい完成車になるまでに、実は相当な手間がかかっている。例えば、バンパーの塗装だけで、エヌステージはこんな段階を踏んでいる。①クルマとの摺り合わせ②仮付け③脱脂④塗装面全てのペーパーがけ⑤ピンホールパテ埋め⑥サーフェーサー吹き⑦もう一度、パテ⑧水研ぎ⑨サー

フェーサー吹き⑩水研ぎ⑪塗装⑫クルマに組む⑬磨き上げ。実は、乾かす時間を含め、この塗装工程が一番時間がかかるという。そんなこともあって、エヌステージでは注文から納車まで、約1か月弱ほどを見てもらっているという。そして、確かな製品をお客さんにお届けするために、最後の試運転まで、幾多の人の手を経てコンプリートカーは完成するのである。このようなクルマが、車両本体価格と使用パーツの積算分より安く買えてしまうのだ。カスタムコンプリートカー、恐るべし!である。さあ、次ページからは各ショップのコンプリートカーの登場だ。あなたなら、どれを選ぶかな?

取り付けと検査だけでも一日がかりの仕事になる



1 ダンパー&コイルの交換。お馴染み、ボディを馬に乗せながらの交換作業。これなら我々にも出来そうだが、



4 ストロクアップにともない、ブレーキホースも長いものにこそ難度アップ。



2 ラテラルロッドも調整式タイプに交換。ちなみに、調整は完成後の検査ラインで行う。



5 リフトアップによるキャスト角補正のため、アームにキャスト角補正プッシュを取り付ける。プレス機を必要とする、やや面倒な工程。



3 脚まわりの作業と平行してMTタイヤをホイールに組み付けているところ。



6 前サスで合計4か所の取り付け。このように備忘プッシュを使用することで、アキスの傾きを変え、キャスト角を補正するのだ。

**自社で車検も取得可能**  
N'sステージは認証工場。本社である西根自動車は指定工場を備えている。左の看板が指定工場の証。つまり自社で車検業務が完了するのだ。N'sステージでは、本社と併せて常時30名ほどが働いており、必要な分解整備から車検の取得まで、全てをこなせてしまうという。このように余裕のある体制だからこそ、コンプリートカーについても迅速で確実な対応ができるのだという。